

① 以下の文章を読みながら「か・き・く・け・こ」に○(まる)をつけてください。

「ではみなさんは、そういうふうにかわだといわれたり、ちちのながれたあとだといわれたりしていたこのぼんやりとしろいものがほんとうはなにかごしょうちですか。」せんせいは、こくばんにつるしたおおきなくろいせいざのずの、うえからしたへしろくけぶったぎんがおびのようなところをさしながら、みんなにといをかけました。

かむばねるらがてをあげました。それからしごにんてをあげました。じよばんにもてをあげようとして、いそいでそのままやめました。たしかにあれがみんなほしだと、いつかざっしでよんだのですが、このごろはじよばんにはまるでまいにちきょうしつでもねむく、ほんをよむひまもよむほんもないので、なんだかどんなこともよくわからないというきもちがするのです。

ところがせんせいははやくもそれをみつけたのです。

② 各仮名の個数を数えて、数を書いてください。

か	き	く	け	こ
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

③ 何について書かれた文でしたか？口頭で教えてください。

..... 折り線

【文章】仮名拾い(かなひろい) 課題プリント その2

答え ② か:11 き:3 く:6 け:3 こ:6

③ 先生が銀河(星)についての授業をしている文。

(他、物語を説明してもらう) など

物語の出典:

銀河鉄道の夜 - 宮沢賢治 著
を平仮名に加工して作成